

LINE

IS

ART

2023 **11.18** 土

OPEN=10:00~15:30 受付 9:30~

会場 近畿ろうきん肥後橋ビル 12階メインホール
(地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」10番出口すぐ)

ワークショップ 10:00~11:30

「手が語る、わたしの人生の物語」

フォーラム 13:30~15:30

「高齢化と表現を考える」

※お申込みはウラ面をご覧ください

超高齢化社会のただなかで、いつまでも元気でいたい、地域の人たちとつながりたい、誰かの役に立ちたいという人が増えています。

わたしたちが実現したいのは、長い人生のどんな局面でもその人らしく生きられる、豊かな社会です。その豊かさをつくるひとつのヒントは、創造的な活動、アートやものづくりに関わることです。その人の存在が輝き、多くの人に届くアートの力が、経済的な発展だけではない、人々の精神の充足に欠かせません。

今回は、表現することとおして、その人らしく生きる実践をしている事例を紹介します。会場内では、展覧会やストアもオープン。ぜひご来場ください!

11.3 金祝 特設WebページOPEN!

エイブル・アート SDGs プロジェクト2023

地域でSDGsの課題に向き合う取り組みを
「アートの視点からエンパワメントする」を通して、
「誰一人取り残さない」社会づくりに寄与するプロジェクトです。

～生きることは表現すること～



『赤鼻のマントヒビ』(2015) 上野和子/たんぼの家アートセンター HANA

主催:近畿労働金庫 企画・運営:一般財団法人たんぼの家
協力:NPO法人関西NGO協議会・きょうと障害者文化芸術推進機構 art space co-jin
(社福)わたぼうしの会
後援:大阪府・大阪市・(社福)大阪府社会福祉協議会
(社福)大阪市社会福祉協議会・(一社)大阪労働者福祉協議会
大阪府生活協同組合連合会・こくみん共済coop(全労済)大阪推進本部

はたらくあなたへ 笑顔 を届ける
近畿ろうきん



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



近畿ろうきん肥後橋ビルでイベントを行います。
 関心のある部分に参加いただいても、
 通しての参加も大歓迎です。
 年を重ねていくこと、生きることと表現をすることの
 つながりについて一緒に考えたいと思います。

ワークショップ

10:00～11:30(受付9:30～)

「手が語る、わたしの人生の物語」

自分の手がこれまでに触れ、経験し、手に入れ、手放したことやもの。それらを言葉や身体で表現しましょう。このワークショップは、シニア世代の表現活動をサポートする「50歳からのハローシアター」がコロナ禍に実施したプログラムをベースにしています。演劇経験のない方大歓迎!

- 定員:15名
- ファシリテーター:細見佳代、50歳からのハローシアターの俳優のみなさん

フォーラム

13:30～15:30(受付13:00～)

「高齢化と表現を考える」

年齢を重ねることで変化する心身や環境。それぞれに向き合いながら人生をよりよく生きるためにはどんな方法や考え方があるのでしょうか。「紙芝居劇むすび」「50歳からのハローシアター」の取り組みから、そのヒントを議論します。フォーラム内では両団体の公演もおこないます。

- 定員:50人 ●出演:紙芝居劇むすび、50歳からのハローシアター
- 登壇者:細見佳代(50歳からのハローシアター主宰)、石橋友美(紙芝居劇むすびマネージャー)
- 進行:岡部太郎(一般財団法人たんぼの家常務理事)

*情報保障について:フォーラムの開催中は会場内で字幕表示をします。

パートナー団体

◎50歳からのハローシアター(京都)

細見佳代(演技指導/演出)、山田珠実(ダンサー/振付家)が関西・京都を中心に、シニア世代の表現活動をサポートするプロジェクト。長い人生を歩んでこられたシニア世代の方がもっている、多くの経験、さまざまな知恵、深い感性。「50歳からのハローシアター」は、そうしたシニア世代の心と体に蓄えられた魅力を、演劇やダンスなどのアートを通して表現することをめざしている。



◎紙芝居劇むすび(大阪)

西成区の釜ヶ崎で活動する紙芝居劇団。複数のメンバーが面をつけ、ひとり役で朗読するユニークな紙芝居が特徴で、保育園から地域のまつりなど、地域や年代を問わず活動の幅を広げている。2007年にはロンドン公演、その後も宮城県のとろろケアクリニックやケニアのスラムにあるこどもの施設などと交流をしてきた。戦争ヤリストラ、野宿を乗り越えた初期のメンバーの後に続き、現在は団塊の世代を中心とした第3期を結成。パリエティー豊かなメンバーが活躍している。



展覧会

10:00～15:30

「ヒューマンレガシー」



「ケンケンスコロク」
濱中 徹

画像提供
アートと障害のアーカイブ・京都

「冥夢百鬼夜行」高田智恵子(アトリエ創佳舎)



表現活動をしてきた障害のある人の作品はその人の人生と深く結びついています。作品と作家のこれまでの生活の物語を紹介いたします。

- 出展作家
上野和子
(たんぼの家アートセンターHANA)
濱中 徹
高田智恵子
(アトリエ創佳舎)

ストア

10:00～15:30

「GOOD JOB STORE」

障害のある作家の作品や、福祉施設でつくられたユニークなプロダクトを扱うGood Job!センター香芝が1日限りの出店。当日は会場内にて、障害や高齢化と表現に関する商品や書籍を販売します。



特設WebページOPEN!

オープン期間=2023年11月3日(金・祝)～23日(木・祝)

「エイブル・アートSDGsプロジェクト 特設Webページ」を開設し、今回のワークショップやフォーラムに登壇するパートナー団体の活動紹介を行います。
 ※特設Webページの開設については近畿ろうきんホームページ等でお知らせします。

ワークショップ・フォーラム申込み方法

メールでのお申込み⇒ ableart@popo.or.jp

お名前、ご所属(任意)、参加希望プログラム(複数選択可)をお知らせください。

オンラインでのお申込み⇒
 右のQRコードからお申込みください。



<https://forms.gle/3NSsWYWz2cQ9j42d9>

電話・FAXでのお申込み

事務局まで必要項目を伝えるか、下記の項目に記入したうえで、このチラシをそのままFAX送信してください。

[申し込みフォーム]

(よみ)お名前	ご所属(任意)	参加人数	名
電話番号	連絡先アドレス		

参加希望プログラム 希望するプログラムの□内にチェック (複数選択可) してください。

- ワークショップ「手が語る、わたしの人生の物語」10:00～11:30
- フォーラム「高齢化と表現を考える」13:30～15:30

お問合せ、ワークショップ・フォーラム お申込み先

〒630-8044 奈良市六条西3-25-4
 一般財団法人たんぼの家(担当:岡部・中島)
 Tel 0742-43-7055/Fax 0742-49-5501
 Email ableart@popo.or.jp

*いただいた情報は、一般財団法人たんぼの家が適切に管理し、本事業の実施以外には使用いたしません。